



2023年3月8日

各位

会社名 旭化成株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 工藤 幸四郎  
 (コード番号：3407 東証プライム市場)  
 問合せ先 広報部長 楠神 輝美  
 (TEL 03-6699-3008)

## 減損損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期通期において、下記の通り、連結子会社の Polypore International, LP (以下「Polypore 社」) における減損損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせします。これに伴い、2023年2月8日に公表した2023年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

## 記

## 1. 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,737,000	125,000	118,000	70,000	50.46
今回発表予想 (B)	2,737,000	125,000	118,000	△105,000	△75.69
増減額 (B-A)	0	0	0	△175,000	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年実績 (2022年3月期)	2,461,317	202,647	212,052	161,880	116.68

## 2. 業績予想修正の理由

当社グループは、2015年8月に Polypore 社の買収を通じて、環境対応車等の車載用途の需要が高まると想定されていたリチウムイオン電池用乾式セパレータ「セルガード」、幅広い用途で安定的な需要が見込める鉛蓄電池用セパレータ「ダラミック」の2つの事業を獲得し、電子機器等の民生用途で成長していたリチウムイオン電池用湿式セパレータ「ハイポア」事業と共に、一体のバッテリーセパレータ事業として運営してまいりました。これらの事業活動を通じ、今後の環境対応車市場の動向と、それに向けた各事業の事業戦略の方向性が明確になってきたことから、「ハイポア」及び、Polypore 社のそれぞれの事業による独立運営へと切り替えることとしました。この決定に伴い、資産のグルーピング単位の見直しを行い、将来キャッシュ・フローに基づき「減損テスト」を行った結果、Polypore 社ののれん及びその他無形固定資産につ



いての減損損失約 1,850 億円（注）を特別損失に計上する見込みとなったことから、本日開催の取締役会において、2023 年 2 月 8 日に公表した連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益（以下「当期純利益」）を上記の通り修正することを決定しました。なお、上記その他無形固定資産に対応する繰延税金負債の取崩しを考慮し、当期純利益への影響額は、1,750 億円と見込んでいます。

なお、通期の配当予想については、2023 年 2 月 8 日公表（期末配当 18 円）から変更ありません。

### 3. 個別決算における特別損失の計上

Polypore 社における減損損失計上に伴い、当社が保有する同社持株会社の Asahi Kasei Energy Storage Materials, Inc. 株式の実質価値が著しく低下するため、当社の 2023 年 3 月期通期において、関係会社株式評価損約 2,600 億円（注）を特別損失に計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結業績への影響はありません。

（注）上記は、2023 年 3 月 7 日時点の為替レート（¥136/\$）を前提としています。

※本資料には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

以 上